

平成 22 (2010) 年度 基礎研究報告

都市情報の運用に関する研究 III —地域における情報ニーズの分析—

■研究報告書 要旨

分権改革以降の地方自治体には、自発的に政策を立案し展開することが望まれています。そこで、本研究では、地域自治にかかる事業における情報共有を想定し、各種の地域活動団体の代表者に情報利活用に関するアンケート調査を実施することで、地域にとって役立つ情報やデータが何かについて検討を加えています。

■研究報告書 目次

はじめに

第1章 はじめに

第2章 これまでの研究成果と課題

2. 1. 初年度研究の概要
2. 2. 次年度研究の概要
2. 3. 情報利活用の問題点

第3章 地域自治と情報利活用—調査研究の視点—

3. 1. 地域担当職員制度における情報利活用
3. 2. 地域活動に役立つ情報

第4章 情報利活用に関する地域の意識—アンケート調査の分析より—

4. 1. 調査結果の概要
4. 2. 情報利活用と組織や活動範囲との関係

第5章 おわりに

(村山)